

令和元年 10月30日(水) 第24号



職場体験学習に向けて



今週は、いよいよ職場体験学習の事前学習が本格的になりました。28日(月)には、しおり冊子を配布し、事業所ごとにわかれて取り組みをおこないました。事業所ごとの代表生徒を決め、その人たちの打ち合わせもおこないました。職場体験学習の1週間前である**11月8日(金)午後**には、生徒たちだけで最初のご挨拶にうかがいます。また、職場体験学習の1週間後の**22日(金)午後**にはお礼のご挨拶にうかがいます。そういった場面で、代表生徒を務める人には、率先して挨拶をリードしてもらいます。もちろん、挨拶は体験当日**14日(木)・15日(金)**にも必要だし、何かあったときは、常に代表生徒の出番です。しっかりとみんなを引っばって行ってください。



先週の防災訓練もそうですが、**学校外の方と関わる場面**というのが、学校生活の中ではしばしばあります。先生たちなら、毎日キミたちと顔を合わせるので、キミたちの良いところも悪いところもわかっています。そのため、仮に「**あの子、今日は態度が悪かったな...**」ということがあっても、またその翌日には「**やっぱりこういうところがあの子の良いところだな**」と思うことがあるなど、マイナスを払拭するチャンスがいくらでもあります。しかし、学校外の方と関わる機会は、そうそう何度もありません。いわゆる《**その場限り**》というのがほとんどです。だから、何らかの事情がたまたま重なって、「**あの子、態度が悪いな...**」と思われてしまったら、「**この子はこういう子なんだ**」となるかもしれません。それで活動が終わったら、当然その評価のままで終わります。



そんなことになるのは本当に残念なことです。その人の**内面**や**気持ち**は、服装や身だしなみだけでなく、きっとその人の**一挙手一投足**のすべてにあらわれるものです。だとすれば、キミたちが入学以来磨きあげてきた“心”のありようも、その**一挙手一投足**にあらわれるはず。キミたちの強みは、**素直に誠実に、一生懸命に取り組む**ことです。今回の職場体験学習に対しても、一生懸命に取り組むことで、大きな学びが得られます。しおりの5ページにもたくさんのことを書いて、心の準備を万全にして当日に臨みましょう。すると、事業所の方々にも気持ちが伝わり、きっと喜んでいただけるはずです。そして、キミ自身もますます大きく成長できるはずです。



【防災訓練】を終えて



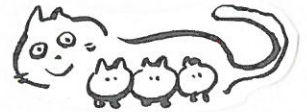
先週の土曜授業では、消防署の方に来ていただき、防災訓練がおこなわれました。体験内容は…

- ① 水消火器 ② 煙テント ③ 搬送 ④ 三角巾 ⑤ AED

の5つです。1つあたりは15～20分程度のもので、次々と交替していくので、2時間近くの体験時間もあっという間に過ぎていきました。5つの体験の前には、署員の方から説明を聞きますが、そのときの“聞く姿勢”も良かったので、それがその後の“体験態度”にも反映されたのでしょうか。体験場所の移動も速やかで、しっかり体験できたのに、予定よりも早く終わることができました。途中、移動した先がまだ終わっていないくて、急な待ち時間があるなど、“臨機応変さ”が求められる場面もありましたが、そこでも柔軟に対応できていたように思います。キミたちはどこの場面でも一生懸命に取り組むので、消防署のみなさんからもお褒めの言葉をいただきました。



【納得解】を得るために



避難生活の中、コンビニであなたは行列の先頭にいます。お金も十分に持っているあなたは、目の前のおにぎり20個を買い占めますか。



閉会式の講評で、消防署の方が出された問題です。「(自分の後ろにいる人のことも考えて) 家族分だけ買う」に手を挙げた人がほとんどでしたが、「(自分の生活のことを考えて) 買い占める」のも間違いではありません。つまり、こういった問題に正解はありません。

学校生活の中では、どの人にも公平に何かが与えられ、また、各教科の授業で扱う問題は、「1つの正解がある」・「正解と不正解がはっきりしている」ものが多いといえます。しかし、実際の世の中では、時には不公平なこともあるし、「1つの正解がない」・「正解も不正解もない」ような問題もたくさんあります。そんなとき、求められるのは《納得解》という考え方です。《納得解》とは、つまり、「その場にいる人みんなが納得できる答え(=解)」のことです。この《納得解》を得るためには、自分の意見をもつことや、それを人に説明する力が必要となります。また、お互いの意見について他の人と話し合い、それらをひとつにまとめていく力も必要となります。キミたちが大人になって社会で活躍する時代は、かつてのように「知識の多さ」が求められるのではなく、「お互いがコミュニケーションをとりながら《納得解》を得る能力」が求められる時代だといわれています。普段の各教科の授業でも、自分の意見をもつ・自分の意見を説明する・他の人と話し合うなどといったことは鍛えることができます。その“みずみずしい感性”を、これからも大切に育てていきましょう。



保護者のみなさまへ

中間テストが終わり、結果もそろそろ返されたころと思います。先日の体育大会で2学期の主な学校行事は終わりましたが、2年生としては、職場体験学習という大きな行事が迫っています。今週に入って、事前の取り組みも本格的になっています。ぜひご家庭でも話題にいただき、生徒たちが前向きに職場体験学習に取り組めるよう、みなさまのご協力をお願いいたします。